


【個人】

提出 令和3年(2021年)8月22日

山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木

山 域・山 名：白馬岳 (2,932m)		長野県北安曇郡白馬村)
入 山 日：2021年8月19-21日 (木金土) 2泊3日 帰宅日：8月21日		
プラン担当者 正：鈴木 副：		幻想的な白馬大池の夜明け 8/21
参 加 者	L：報：記：鈴木	
	男 1名、女 0名、計 1名	
天候 8/19：曇時々雨 8/20：晴のち曇り時々雨 8/21：曇り		
8月19日 (木)	3：00 自宅発 桶川加納 IC 乗車 圏央道、関越、上信越道経由 長野 IC 下車 八方の湯駐車 八方ゴンドラ乗車 8：30 八方池山荘発-9：20 八方池-10：20 丸山-11：30 唐松岳- (不帰ノ嶮) -14：00 最低コル-15：45 天狗山荘 (テン泊) (行動：7h15m)	
8月20日 (金)	4：40 天狗山荘発-5：50 鐘ヶ岳-7：00 杓子岳-8：30 白馬山荘-9：00 白馬岳 -10：40 小蓮華山-12：05 白馬大池 (テン泊) (行動：7h25m)	
8月21日 (土)	5：00 白馬大池発-6：00 乗鞍岳-7：15 榎池自然園下山 八方までバスで移動 (行動：2h15m)	
荒天候時のエスケープルート：山行中止し引き返す。近隣小屋で待機。		
装 備 と 食 糧	共同装備：無し	
	共同食：無し	車提供者：鈴木
	個人装備：ヘッドランプ、コンパス、地図、テルモス(水)、帽子、グローブ、スパッツ、ストック、防寒服、雨具、日焼止、虫除け、テント一式、シュラフ、マット、調理具、ラジオ	
個人食：食料×8、行動非常食		
感 想	8月19日：ゴンドラ・リフトを降りるとガスが立ち込め、先ほどまで視界にあった鹿島五竜が白く塗りつぶされた。ここ数年このルートは残雪期の登頂が多いが、概ね同じ斜面を辿っている。唐松岳に着くころから時折雨が降り始め、雨具を都度着用する。不帰の嶮は岩が濡れていたものの鎖を忠実に利用し問題なく通過。天狗山荘は小屋テントとも少数の利用者。	
	8月20日：夜明け前に出発し途中の稜線でご来光を仰ぐ。今日は晴れかとの期待はその後また裏切られ、晴曇雨が交互に繰り返す不安定な天候となる。進むべき稜線が視野に入るこのルートは天気が悪くともいつも楽しい。白馬三山を登り終えてもまだ続くアップダウンにうんざりしながらも白馬大池にたどり着く。その後テントを叩く大雨に断続的に見舞われた。	
	8月21日：下山地榎池から駐車地八方までのバス時間に間に合わせるため、早めに出発。さすがに今日は雨具装着無し、榎池は多少の登山客が居たが閑散としていた。	